

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

評価実施日

平成27年2月10日(火)

委員	氏名	所属等	備考
	勝田 昇	元中島町教育委員会教育長	
	田口 栄子	福祉介護事業経営	
	山本 祥平	自営業(農業)、元中島町消防団長	
	井藤 留美	松山市立中島中学校長	
	忽那 正和	P T A会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 平成26年度「数値目標」達成状況について

(1) 進学及び就職の目標達成率100%

今年度は、全ての生徒が進路実現を果たしており、進学においては国立大学の合格をはじめ、生徒の希望に応じた進路を実現できている。また、就職においても全員が早い時期に決定しており、きめ細かな指導の成果であると考えている。

・生徒一人一人に寄り添った進路指導を実践することにより、本年度においては進路決定100%を実現することができた。今後は、更に丁寧な進路指導を計画し、生徒の勤労観や職業観を育成し、進路実現を図っていきたい。

(2) 年間出席率95%以上

生徒の自己評価結果から、出席状況がよくなっていることを実感している生徒が多いのはすばらしい。特に、三年生においては、年間の出席率が、98.2%で学年が上がるほど、出席率が安定している。しかし、1年生の率が、79.7%と低い結果になっている。中学まで不登校だった生徒について、高校へ通いはじめる頃の指導や支援を充実させてほしい。

・1年生を中心に生徒の様子をしっかりと観察し、小さな兆候を見逃さず、一人一人を大切にする生徒指導を心掛けていきたい。
・今年度は生徒指導上の特別指導もなかったが、生徒のお互いを思いやる雰囲気や全員で助け合いながら生活をする伝統を、今後とも継承しながら一層安心できる居場所作りのために努力したい。

(3) 家庭学習1日2時間以上

全体では2.1時間であり目標を達成している。しかし、1年生においては1.9時間であり目標を下回っている。できるだけ早い時期に学習の習慣を付けることが重要である。また、個々に応じた指導の仕方を工夫してほしい。しかし、通学の船内では勉強する姿をよく見かけ、気持ちがいい。

・基礎、基本の定着を図ると同時に四年制大学への進学も可能にする個々の生徒に応じた学習指導をするために、個別指導や習熟度学習を取り入れるなど、授業改善に取り組んでいきたい。また、効果的な課題の出し方や教材を工夫することで、学習に対する意欲と態度の育成に努めたい。

(4) 全商検定の2年生3級1種目、3年生3級3種目以上と取得率80%以上

2年生が目標を100%達成しており、成果がみられる。しかし、3年生においては、達成率が54.5%に留まっており、今後更に努力を続けてほしい。上級に合格している生徒もあり、目標の立て方についても検討の余地がある。

・資格試験や検定試験の合格を目指し、引き続き指導の工夫と改善に努めたい。
・現在の数値目標には、上級に合格することが反映されておらず、来年度については、目標の立て方についても検討し、意識の高揚を図りたい。

(5) 地域での奉仕活動年間8回以上

校内の活動を除いても年間12回の奉仕活動を実施しており、地域の活性化のためにも大変ありがたい取組ができている。

・地域に慕われ必要とされる学校であり続けるためにも、今後も継続して積極的にボランティア活動を実践していきたい。

2 今年度の最終評価について

船通学のマナーがとてもよく地域住民からも好印象である。今後も中島分校のよさを失わないようにしながら、地域に一つしかない高等学校の存続を図ってほしい。

・教職員が一丸となって連携し、中学校訪問やホームページによる情報発信等を積極的に行い、中島分校の特色や存在価値をアピールし、今後もたくさんの生徒が中島分校に入学してくれるよう努力していきたい。